

〔スピネトラム水和剤〕

農林水産省登録 第22910号
性 状：類白色水和性粘稠懸濁液体
毒 性：普通物
危 険 物：—
有効年限：3 年
包 装：(100 ml×10 本)×6、(200 ml×10 本)×2

デ ィ ア ナ® S C

有効成分：スピネトラム …………… 11.7%

殺虫剤分類 5



農業ガイドの適用表内(＊)および各項目については、i-農力サイトの「製品情報」や「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご参照ください。
本剤の最新情報：こちらの2次元バーコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法			
稲	イネツトムシ コブノメイガ フタオビコヤガ ニカメイチュウ	4000～ 6000 倍	60～150 ℓ	7 日前	本 剤：2 回 スピネトラム：3 回 (#1)	散布			
		32～48 倍	0.8 ℓ			無人航空機による 散布			
ト マ ト ミニトマト	コナジラミ類	2500 倍	100～300 ℓ	前日	2 回	散布			
	トマトキバガ	2500～ 5000 倍							
アザミウマ類 ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ									
な す	コナジラミ類	2500 倍							
ピーマン	アザミウマ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ	2500～ 5000 倍			#2		育苗期 後半	本 剤：1 回 スピネトラム：3 回 (#3)	灌注
キャベツ	アザミウマ類 コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ウワバ類 オオタバコガ ハモグリバエ類								
	アザミウマ類	50～ 200 倍							
にんじん	ハスモンヨトウ	2500～ 5000 倍	100～300 ℓ	前日	2 回	散布			
だいこん	キスジノミハムシ	2500 倍							
	カブラハバチ ハモグリバエ類	2500～ 5000 倍							
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ウワバ類								

色掛けは2024年9月11日適用拡大

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法	
はくさい	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ウワバ類	2500～ 5000 倍	100～300 ℓ	前日	本 剤：2 回 スピネトラム：3 回 (#3)	散布	
	アザミウマ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ						
ブロッコリー	アザミウマ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ウワバ類 シロイチモジヨトウ				本 剤：2 回 スピネトラム：3 回 (#3)	無人航空 機による 散布	
	アオムシ コナガ	48 倍	1.6 ℓ				
	ハスモンヨトウ	96 倍	3.2 ℓ				
非結球あぶら な科葉菜類 (こまつな、チ ンゲンサイ、な ばな類を除く)	コナガ ハスモンヨトウ アザミウマ類	2500 倍	100～300 ℓ		2 回	散布	
こまつな	ハクサイダニ						
	コナガ ハスモンヨトウ アザミウマ類 アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ						
チンゲンサイ	コナガ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アオムシ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ アザミウマ類	2500～ 5000 倍					
カリフラワー	コナガ アザミウマ類 アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ						本 剤：2 回 スピネトラム：3 回 (#3)
きゅうリン メ	コナジラミ類	2500 倍					2 回
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ウリノメイガ	2500～ 5000 倍					
とうがん	アザミウマ類	2500 倍					
しょうよう ほおずき							
すいか	コナジラミ類						

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法			
すいか	アザミウマ類 オオタバコガ ウリノメイガ ハスモンヨトウ	2500～ 5000 倍	100～300 ℓ	前日	2 回	散布			
かぼちゃ	ハスモンヨトウ								
たまねぎ	アザミウマ類 ネギハモグリバエ	48 倍	1.6 ℓ			無人航空 機による 散布			
		96 倍	3.2 ℓ						
葉たまねぎ	シロイチモジヨトウ	2500～ 5000 倍	100～300 ℓ			散布			
	アザミウマ類 ネギハモグリバエ ハスモンヨトウ								
ねぎ	アザミウマ類 ネギハモグリバエ シロイチモジヨトウ ネギコガ								
	アザミウマ類						48 倍	1.6 ℓ	無人航空 機による 散布
		96 倍	3.2 ℓ						
レタス 非結球レタス	ハモグリバエ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ アザミウマ類	2500～ 5000 倍	100～300 ℓ			散布			
いちご	アザミウマ類 ハスモンヨトウ								
	コナジラミ類 クロバネキノコバエ類	2500 倍							
アスパラガス	コナジラミ類		100～500 ℓ						
	アザミウマ類 ハスモンヨトウ オオタバコガ ジュウシホシクビナガハムシ	2500～ 5000 倍							
かんしょ			100～300 ℓ						
	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ	32 倍	0.8 ℓ			無人航空 機による 散布			
		64 倍	1.6 ℓ						
		ヒルガオハモグリガ	2500 倍						
豆類（未成熟、 ただし、さやい んげんを除く） 豆 類（種実、 ただし、だいず、 あずき、らっ かせいを除く）	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類	2500～ 5000 倍	100～300 ℓ			散布			
だいず	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類 マメシンクイガ								
	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 アザミウマ類								
あずき	アズキノメイガ						2500～ 7500 倍		

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
さやいんげん	アザミウマ類 ハモグリバエ類 アズキノメイガ ハスモンヨトウ	2500～ 5000 倍	100～300 ℓ	前日	2 回	散布
つるむらさき	ハスモンヨトウ	2500 倍				
かぶ	コナガ ハスモンヨトウ アオムシ	2500～ 5000 倍				
にら	ネギコガ	2500 倍				
ほうれんそう	アザミウマ類	2500～ 5000 倍				
	ハスモンヨトウ シロオビノメイガ ハモグリバエ類 ハクサイダニ アザミウマ類					
	ハウレンソウケナガコナダニ					
なばな類	コナガ ハスモンヨトウ ハクサイダニ アザミウマ類	2500～ 5000 倍				
しゅんぎく	オオタバコガ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類 ハクサイダニ アザミウマ類					
食用ぎく	アザミウマ類 オオタバコガ					
きく（葉）	ハモグリバエ類					
食用ミニバラ	コナジラミ類	2500 倍				
	アザミウマ類 オオタバコガ	2500～ 5000 倍				
にんにく	アザミウマ類 ネギコガ					
らっきょう	ネダニ類	2500 倍	－	植付前	本 剤：1 回 スピネナム：3 回 （#4）	30 分間 種球浸漬
	アザミウマ類 ハモグリバエ類	2500～ 5000 倍	100～300 ℓ	前日	本 剤：2 回 スピネナム：3 回 （#4）	散布
茶	チャノキイロアザミウマ チャノコカクモンハマキ チャノホソガ チャハマキ ヨモギエダシャク チャトゲコナジラミ ニトベミノガ	2500～ 5000 倍	200～400 ℓ	摘採前日 まで	1 回	
ばれいしょ	ハスモンヨトウ		100～300 ℓ	前日	2 回	
さといも	セスジスズメ					
未成熟とうもろこし	アワノメイガ オオタバコガ					

色掛けは2024年9月11日適用拡大
（「ネギコガ」の「2500倍」は「にら（花茎）」で今回登録取得）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
とうがらし類	アザミウマ類	2500 倍	100～300 ℓ	前日	2 回	散布
てんさい	ヨトウムシ シロオビノメイガ	5000～ 7500 倍				
セルリー	ハスモンヨトウ ハモグリバエ類	2500～ 5000 倍				
花き類・ 観葉植物 (りんどうを 除く)	コナジラミ類 クロバネキノコバエ類	2500 倍				
	アザミウマ類 オオタバコガ ハモグリバエ類 イラクサギンウワバ	2500～ 5000 倍				
りんどう	リンドウホソハマキ	2500 倍				
	コナジラミ類 クロバネキノコバエ類					
わた	オオタバコガ	2500～ 5000 倍				
	アザミウマ類	2500 倍				
樹木類	ハマキムシ類	2500～ 5000 倍	200～700 ℓ			

- #1：直播では種時又は移植時までの処理は1回、本田では2回
#2：セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊（30×60cm・使用土壌約3～4ℓ）当り500ml
#3：定植時までの処理は1回、定植後の散布は2回
#4：種球浸漬は1回、散布は2回

 効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用する。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法にあわせ調節する。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布する。
- 間引き菜、つまみ菜に使用しない。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

 安全使用上の注意

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。桑葉にかかった場合には使用後約1ヶ月間は蚕に給餌しない。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しない。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。

- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守る。
 - 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施する。
 - 散布にあつては散布機種に適合した散布装置を使用する。
 - 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行う。
 - 散布薬液の飛散によって自動車やカラータンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
 - 散布終了後は次の事項を守る。
 - ・ 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄する。
 - ・ 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管する。

〔品目特性〕

- 広い殺虫スペクトラム：
チョウ目害虫はもちろん、アザミウマ目害虫・ハエ目害虫に対しても防除効果を発揮するので、幅広い害虫の防除が可能です。
- 速やかな食害抑制効果：
チョウ目害虫に対して、速やかな摂食阻害活性を発揮するので、被害の拡大（進展）を抑制します。
- ハマキムシ類に優れた効果：
各生育ステージ（卵・幼虫・成虫）に高い効果を示します。よって、散布適期が広く使いやすい薬剤です。
- 収穫（茶は摘採）前日まで使用可能です（キャベツは、収穫前日もしくは育苗期後半、稲は収穫7日前、らっきょうは収穫前日もしくは植付前まで）。